

市長の

しおかぜ

通

信

蒸し暑い日が続きますが、これから夏本番を迎える季節となりました。皆様には、体調に十分留意され、夏祭りや花火大会など、この時期ならではの行事をお楽しみいただきたいと思います。

さて、五月二十一日には今年で九回目を迎えました「島の大運動会」が真鍋島で開催され、七つの島の人をはじめ、約三千人の方々とおふれあい、ともに楽しむ機会を得ることができました。回を重ねるごとに、笠岡諸島の絆がより一層深まることを実感した一日でした。

今年は例年と趣を変えて、島の人たちだけで行う行事から一歩進んで、島の歴史や文化を知っていただくため、市外の方々をお迎えし、底引き船による漁業体験や、ウオークラリー、映画「瀬戸内少年野球団」のロケ地としても知られ風情ある町並みを巡っていただきました。各島対抗戦の綱引きでは、私も参加して見事優勝することができました。翌日は筋肉痛で悩まされましたが：

喜ばしいことに本年笠岡諸島には14世帯31名の方々が生徒数の増加に加え、教職員数が増えたり、さらには北木島や高島に飲食店がオープンするなど活気ある話題が尽きません。

今後とも市民と行政が手を取り合って、まちづくりに取り組むことで、市民も行政も生き生きとした素晴らしい笠岡でありたいと願っています。

笠岡市長 高木直矢



7月はカブトガニ保護啓発月間

『カブトガニの棲んでいる海』を守りましょう!!



笠岡市では、カブトガニを保護するために7月を「カブトガニ保護啓発月間」に定めています。この期間中には、主にカブトガニの幼生の放流と、繁殖地内の海岸清掃作業を行っています。今年度は7月9日に幼生放流を、7月16日には多くの市民の皆さんのご協力を得て「海岸クリーン作戦」を行います。これらの事業を実施することにより、繁殖地内でのカブトガニの保護と増殖、そして美しい瀬戸内海を、次の世代に伝承していこうとするものです。



こうした地道な活動を継続してきたことによって、徐々にではありますが、その効果が現れ始めています。例えば、平成16・17年度には、大きく育ったカブトガニの幼生が魚網にかかりました。また干潟では数十匹もの幼生の生育が確認されています。



「カブトガニの棲んでいる海に」これは私たち笠岡市民の悲願です。その目標を達成するために、市民一体となって取り組んでいきましょう。

カブトガニは、笠岡の風土から生まれた、かけがえのない大切な財産なのです。

